



顕岑院で、追悼の言葉を捧げる治安維持法国賠同盟京都府本部佐藤和夫副会長



(574号付録)

京都版 第441号

2022年4月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
京都府本部

〒604-8832京都市中京区

壬生下溝町 51-41

(電) 090-8575-9851

fax 075-325-3863

E-mail info@kokubai-kyo

to-com

ホームページ <https://kokubai-kyoto.com>

kubai-kyoto.com

ロシアによるウクライナ侵略反対！
すべての人々が平和で幸せに暮らせる社会
をつくらう！

第59回国領五一郎墓前祭 (2022年)が開催されました！

ロシアはウクライナから
即時撤退せよ！

市民と野党の共闘で政治を国民の
手に！

京都の日本共産党の創立者の一人で、戦前の労働運動の指導者だった国領五一郎(こくりょう・ごいちろう)の第59回目の墓前祭が、3月15日京都市左京区の顕岑院(けんしんいん)で行われました。

今、ロシアのウクライナ侵略を許すなの声が、日本でも、どこでも巻き起こっている時に開催されました。

墓前祭は、読経の後、「国領五一郎を顕彰する京都の会」の若宮修会長があいさつ。参加者が追悼の挨拶を述べました。

京都総評議長のかじかわ憲さんは、「戦争か平和か、労働者が食えるか貧困にあえぐか、国領さんがたたかってきた歴史がもう一度目の前で問われている」と追悼のことは述べました。

治安維持法国賠同盟からは佐藤和夫府本部副会長が、追悼の辞を述べました。

国領五一郎の 略歴紹介

国領五一郎は、1903年1月1日に京都西陣で生まれた。両親は西陣織物労働者。13歳で織物労働者となり、英語、経済学、社会学を独力で学ぶ。

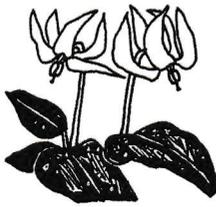
1921年、18歳で西陣織物労働組結成に参加。のち日本労働組合幹部として先頭に立ち指導。

1923年、谷口善太郎氏らと京都の共産党を結成。3・15事件後の組織再建に奔走するなど、日本共産党中央の最高指導者の1人として活躍する。

1928年10月、治安維持法で特高警察に逮捕され、拷問を受けるも、党を守った。たかう。網走、釧路、奈良、堺と移送され、14年余の獄中

生活で髪も白くなり、胃潰瘍を患い、1943年3月19日酒井刑務所で誰にも看取られずに、不屈の革命家としての生涯を終えた。

遺骨は左京区の黒谷墓地に葬られ、毎年3月15日、「国領五一郎を顕彰する京都の会」が主催し、黒谷顕彰院本堂で墓前祭が営まれる。日本共産党京都府委員会や民主青年同盟、国民救済会、治安維持法同盟、京都総評、全西陣織物労働組合など関係諸団体の手によって墓前祭が営まれている。（「国領五一郎を顕彰する京都の会」発行のパンフによる）



5・3憲法集会への ご案内

戦争アカン！ロシア軍の軍事行動中止・ウクライナからの即時撤退を求めます！

憲法9条、今こそ出番！

憲法をみんなで読み、知り、話し、考えましょう
そして、できることから行動を始めましょう

◆とき5月3日（火・祝）

午後2時45分開会

◆会場円山野外音楽堂

◆講演

体験的「戦争をしてはいけない」論

金平茂紀さん（ジャーナリスト・TBS

「報道特集」キャスター

◆市民スピーチ

◆「憲法改悪を許さない全国署名」の呼びかけ

◆憲法ウォーク

第59回国領五一郎墓
前祭にあたり、治安維
持法犠牲者国家賠償要
求同盟京都府本部を代
表して

追悼の辞を

ささげます

副会長 佐藤 和夫

第59回国領五一郎墓前祭に
あたり、治安維持法犠牲者国
家賠償要求同盟京都府本部を
代表して、追悼の辞をささげ
ます。

同志・国領五一郎は、天皇
制軍国主義が中国侵略をす
めるとき、日本共産党の中央
委員として、労働戦線に於い
て「対支不干涉」運動全国同
盟の組織者となり、「反戦平
和」の先駆者の役割を果たし

ました。あなたの勇気と「反
戦平和」の思いを受け継ぐこ
とが、改めていま求められて
います。

去る3月24日、ロシアのプー
チン大統領はウクライナのEU
加盟を阻止するとして、突
然にウクライナへ20万余の軍
をすすめました。国連憲章と
国際法に照らして明らかに不
当かつ不法な「侵略戦争」で
す。しかも、原発施設や斐戦
闘員のウクライナの人々をも
砲撃するという恐るべき蛮行
もしつづけています。直ちに
無条件に侵略戦争をやめ撤兵
すべきです。

このロシアの隣国への侵略
を以て安保環境の悪化とい
たてて、「台湾有事」を想定
し敵基地攻撃能力の保有やア
メリカとの核共有の必要をあ
おる日本の安倍晋三元総理を

はじめとする体制翼賛会的政
治勢力は、憲法9条に自衛隊
保有の追加や緊急事態条項の
盛り込みを画策しています。
まさに、ロシアの侵略を天祐
とする「危機便乗型」策動と
いわなければなりません。

我々国賠同盟は治安維持法
の犠牲者の顕彰運動を続けて
いますが、1931年の満州
事変から、華北分離工作につ
づき、1937年の蘆溝橋事
件による日中全面戦争にいたっ
た過去のことを思い起こしま
す。まさに侵略戦争に国民総
動員させた「梃の役割り」が
治安維持法でした。

いま、改憲をおおる人々は、
15年間つづいた「アジア・太
平洋戦争」を当時の呼称「大
東亜戦争」とよばせ、ABCD包
囲網による経済封鎖でギリ貧
からのがれるための「自衛戦

争」であり、かつ欧米の植民
地支配からの「アジア解放の
戦争」だったと教科書にかか
せようとしつづけている政治
勢力です。

ロシアのウクライナ侵略は、
100年前の日本軍国主義の
アジア侵略と同じです。侵略
をやめさせる道は、あらゆる
国際紛争を話し合いで解決す
る「国連憲章」の精神と通底
する「憲法九条」の力を発揮
することです。

国領五一郎墓前祭において、
同志国領の精神を受け継ぐこ
とを誓い、追悼の辞とします。

2022年3月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

京都府本部副会長

佐藤和夫

すべての支部、会員のみなさんに訴えます

2022年4月8日、治安維持法同盟の中央常任理事会が開催されました。

4月8日、中央常任理事会が開催されました。第40回全国大会成功を目指し、議案書等について論議しました。また全国大会の成功をめざす

「2万人の同盟実現特別期間」の前進のため決意を固めました。

ご承知の通り、ロシアのウクライナ侵略、国内では自民党や維新の会の核武装論、憲法9条改憲論の危険な目論みが表面化しています。

一方、ウクライナ侵略反対、戦争する国づくり反対の声は日増しに広がっています。

私たち治安維持法同盟は、「再び戦争と暗黒政治を

許さない」社会を実現するため50余年頑張ってきました。

いまこそ平和と民主主義を守る市民と共同の輪を広げ、同盟の真価を発揮すべき時です。

そのためにも中央常任理事会は、すべての都道府県本部、支部、会員のみなさんに次の行動に参加し、運動の前進に奮闘していただくよう訴えます。

一、「2万人同盟実現」のため知恵と力を発揮しましょう

二、国賠署名の取り組みを飛躍させましょう

三、映画『わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯』の上映運動を成功させましょう

四、学習、顕彰活動を活発化しつつ、財政活動を前進させましょう

「治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願」の署名を推進しましょう！

会員の皆さん。歴史の真実を明らかにし、治安維持法による犠牲者への謝罪と賠償を求めて、治安維持法同盟は、1974年以来毎年粘り強く署名を集め、国会請願を行っています。

署名活動は、国民へ働きかける最も基本的な活動であり、私たちの運動を国民的運動に発展させる基本です。署名活動は、同盟活動の質的強化にも大きな役割を果たします。

今年の国会請願日は5月11日です

間近に迫りました。この国会請願を成功させようと、全国で活発な署名活動が行われています。京都では、1万筆の目標を掲げて頑張っています。大変遅れています。

会員の皆さん。ご家族やお知り合いの方々、所属団体の皆さんに、署名をお願いしてください。あらためてお願いいたします。

